

平成27年8月25日  
調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会  
(平成27年度 第1回)

資料1

# 調査・設計等業務に関する 入札・契約の実施状況 (平成26年度年次報告:速報)

国土技術政策総合研究所

# 目 次

1. 調査・設計等分野の契約状況	
(1) 調達方式別発注件数の推移(全業種計、土木／測量／地質)	P1-1
(2) 調達方式別当初契約額の推移(全業種計、土木／測量／地質)	P1-3
(3) 業種別・予定価格帯別「総合評価落札方式」発注件数(平成26年度)	P1-5
(4) 配点比率別「総合評価落札方式」発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)	P1-6
(5) 調達方式別・予定価格帯別発注件数(平成26年度)	P1-7
(6) 配点比率別・予定価格帯別「総合評価落札方式」発注件数(平成26年度)	P1-8
(7) 予定価格帯別発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)	P1-9
(8) 四半期別発注件数割合の推移(全業種計／土木／測量／地質/予定価格2,000万円超)	P1-10
2. 業務成績との関係	
(1) 調達方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種)	P2-1
(2) 調達方式別業務成績評定点平均の推移(全業種)	P2-2
(3) 低入落札・非低入落札と業務成績評定点の関係(全業種計／土木／測量／地質)	P2-3

## 平成26年度年次報告について

### 年次報告の作成の目的

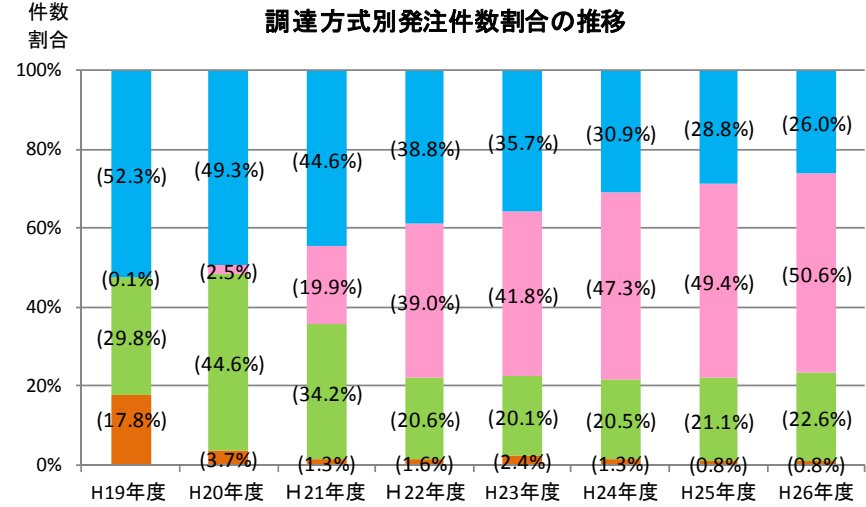
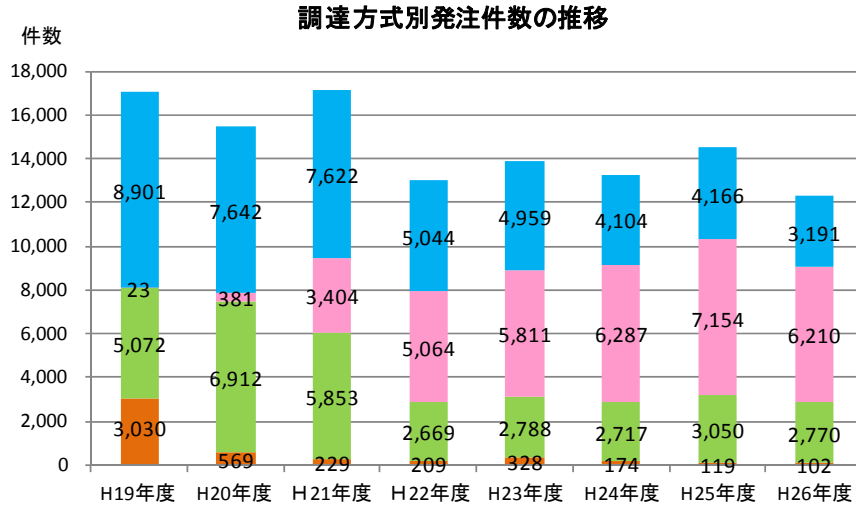
本年次報告は、適切な入札・契約の実施、低入落札防止策、入札契約制度に関する諸課題への確実な対応をするために、国土交通省における調査・設計等業務に関する入札・契約の実施状況をとりとまとめ、公表するものである。

(今回報告では、契約状況、業務成績について整理)

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (1) 調達方式別発注件数の推移(全業種計)

- ・平成26年度発注件数は12,273件であり、前年度(14,489件)に比べて15.3%減少した。
- ・調達方式別の発注件数割合を見ると、プロポーザル方式が22.6%、総合評価落札方式が50.6%、価格競争が26.0%であり、平成25年度に比べ、プロポーザル方式・総合評価落札方式は増加、価格競争は減少となった。



凡例： ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

### 地方整備局等(港湾空港除く)における契約状況(単位:件)

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
価格競争	8,901 (52.3%)	7,642 (49.3%)	7,622 (44.6%)	5,044 (38.8%)	4,959 (35.7%)	4,104 (30.9%)	4,166 (28.8%)	3,191 (26.0%)
総合評価落札方式	23 (0.1%)	381 (2.5%)	3,404 (19.9%)	5,064 (39.0%)	5,811 (41.8%)	6,287 (47.3%)	7,154 (49.4%)	6,210 (50.6%)
プロポーザル方式	5,072 (29.8%)	6,912 (44.6%)	5,853 (34.2%)	2,669 (20.6%)	2,788 (20.1%)	2,717 (20.5%)	3,050 (21.1%)	2,770 (22.6%)
特命随意契約	3,030 (17.8%)	569 (3.7%)	229 (1.3%)	209 (1.6%)	328 (2.4%)	174 (1.3%)	119 (0.8%)	102 (0.8%)
合計	17,026	15,504	17,108	12,986	13,886	13,282	14,489	12,273

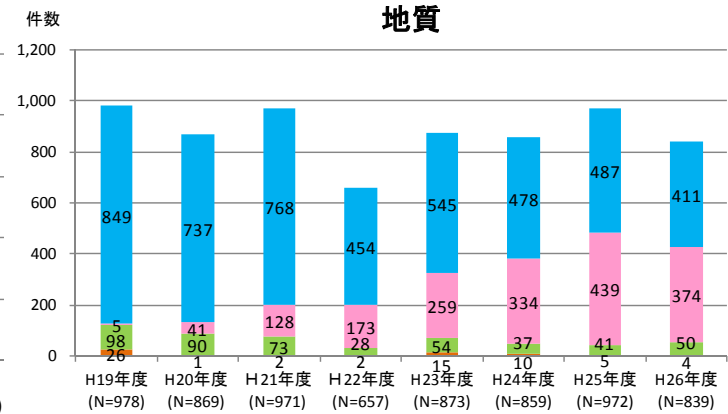
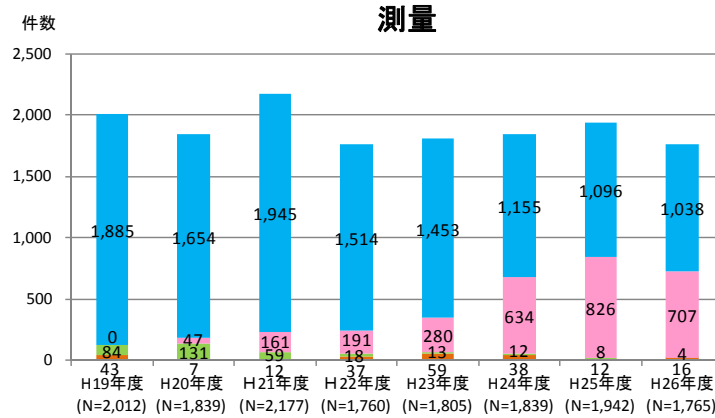
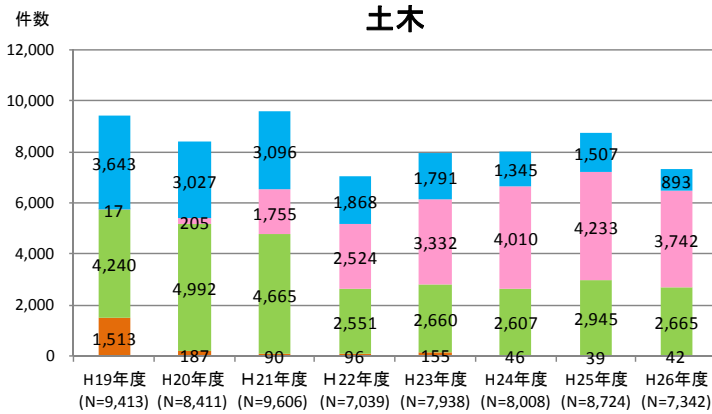
※北海道開発局+8地方整備局の業務を対象。(港湾・空港関係を除く)。以下、同様。

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

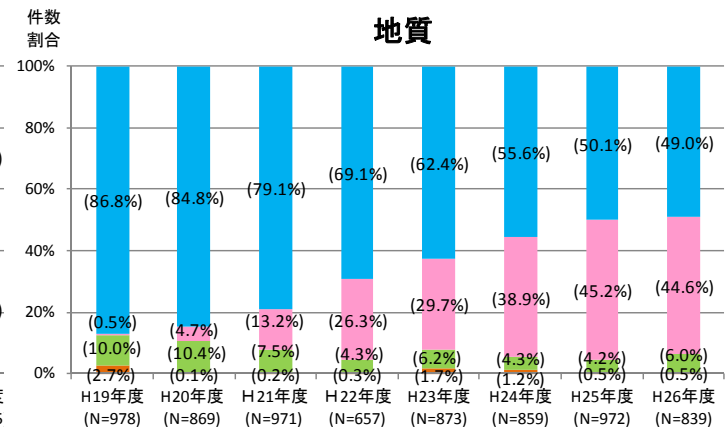
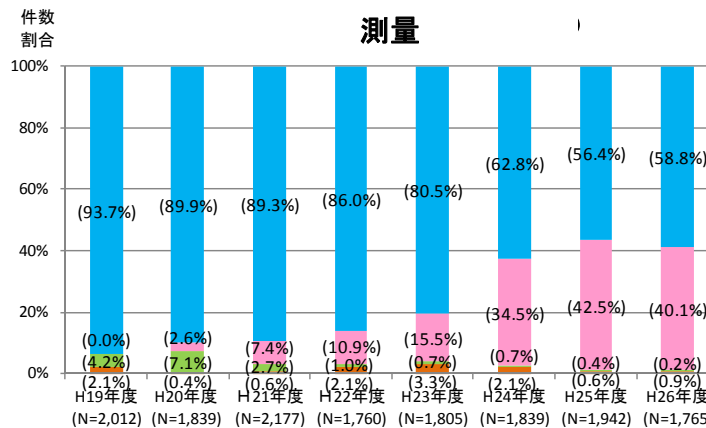
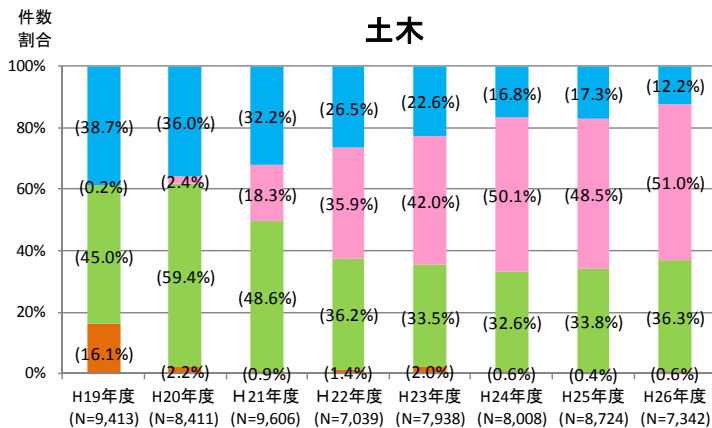
## (1) 調達方式別発注件数の推移(土木／測量／地質)

- ・平成26年度の土木業務の発注件数割合は、プロポーザル方式が36.3%、総合評価落札方式が51.0%、価格競争が12.2%であり、平成25年度と比較してプロポーザル方式・総合評価落札方式が増加、価格競争が減少している。
- ・測量業務及び地質業務については、平成25年度と比較して同様の傾向である(平成26年度の当初契約額に占める総合評価落札方式の割合は4割以上)。

調達方式別発注件数の推移



調達方式別発注件数割合の推移



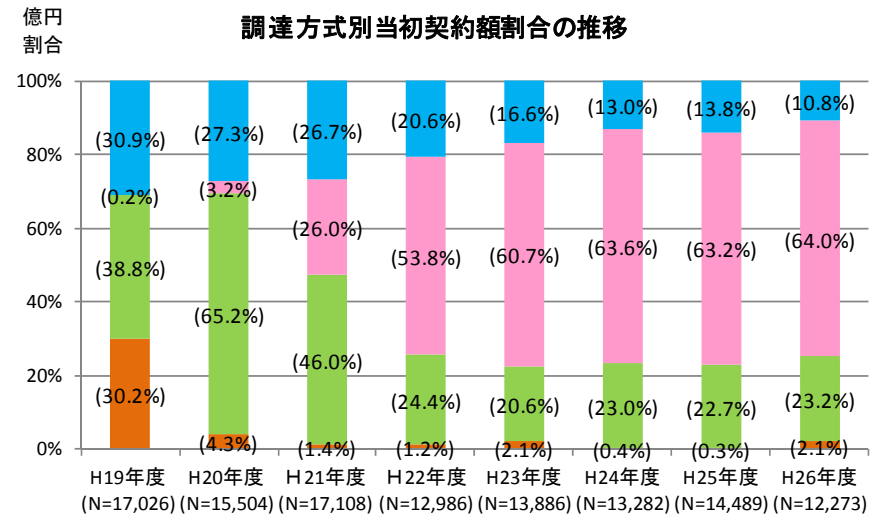
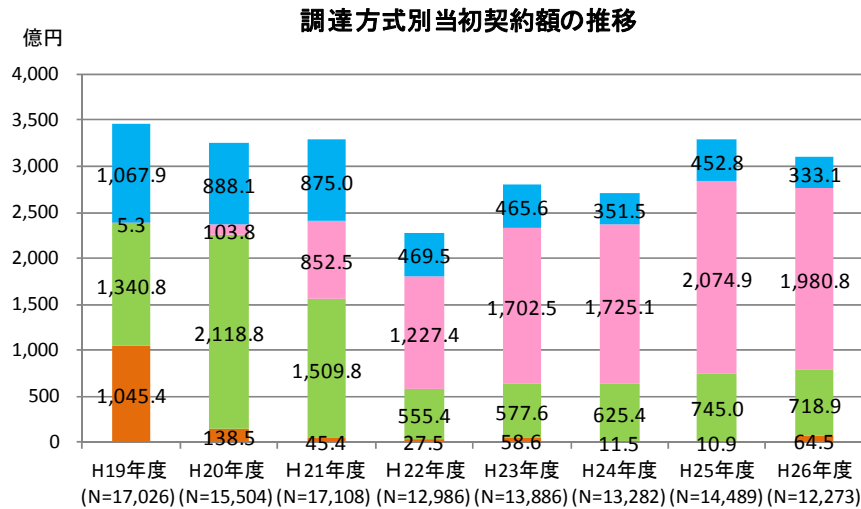
凡例： ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

※土木、測量、地質は発注者支援を除く。以下、同様 1-2

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (2) 調達方式別当初契約額の推移(全業種計)

- ・平成26年度当初契約額は3097.3億円であり、前年度(3,283.6億円)に比べて5.7%減少した。
- ・調達方式別の当初契約額割合を見ると、プロポーザル方式が23.2%、総合評価落札方式が64.0%、価格競争が10.8%であり、平成25年度に比べ、プロポーザル方式・総合評価落札方式は増加、価格競争は減少となった。



凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

地方整備局等(港湾空港除く)における当初契約額の状況(単位:億円)

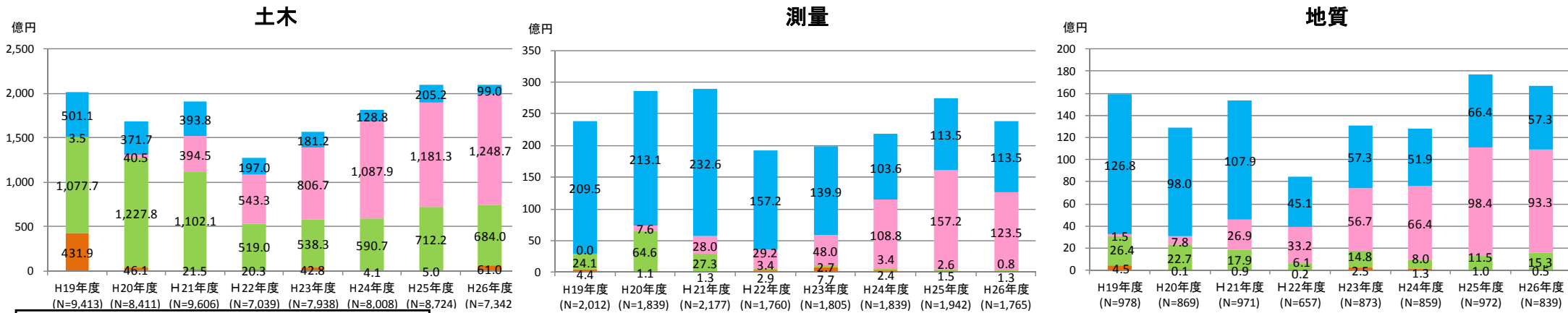
	H19年度 (N=17,026)	H20年度 (N=15,504)	H21年度 (N=17,108)	H22年度 (N=12,986)	H23年度 (N=13,886)	H24年度 (N=13,282)	H25年度 (N=14,489)	H26年度 (N=12,273)
価格競争	1,067.9 (30.9%)	888.1 (27.3%)	875.0 (26.7%)	469.5 (20.6%)	465.6 (16.6%)	351.5 (13.0%)	452.8 (13.8%)	333.1 (10.8%)
総合評価落札方式	5.3 (0.2%)	103.8 (3.2%)	852.5 (26.0%)	1,227.4 (53.8%)	1,702.5 (60.7%)	1,725.1 (63.6%)	2,074.9 (63.2%)	1,980.8 (64.0%)
プロポーザル方式	1,340.8 (38.8%)	2,118.8 (65.2%)	1,509.8 (46.0%)	555.4 (24.4%)	577.6 (20.6%)	625.4 (23.0%)	745.0 (22.7%)	718.9 (23.2%)
特命随意契約	1,045.4 (30.2%)	138.5 (4.3%)	45.4 (1.4%)	27.5 (1.2%)	58.6 (2.1%)	11.5 (0.4%)	10.9 (0.3%)	64.5 (2.1%)
合計	3,459.4	3,249.2	3,282.7	2,279.8	2,804.3	2,713.5	3,283.6	3,097.3

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

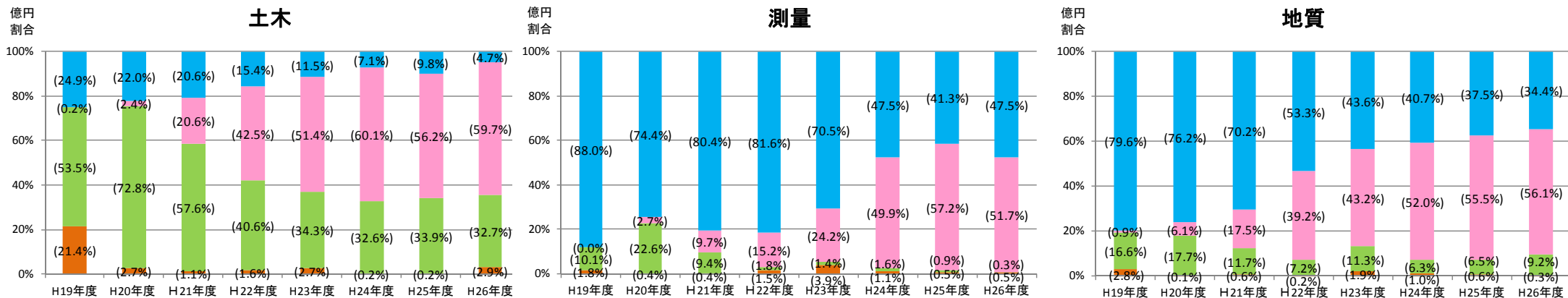
## (2) 調達方式別当初契約額の推移(土木／測量／地質)

- ・平成26年度の土木業務の当初契約額の割合は、プロポーザル方式が32.7%、総合評価落札方式が59.7%、価格競争が4.7%となっており、平成25年度と比較して価格競争が減少している。
- ・測量業務及び地質業務については、平成25年度と比較して同様の傾向である(平成26年度の当初契約額に占める総合評価落札方式の割合は5割以上)。

調達方式別当初契約額の推移



調達方式別当初契約額割合の推移



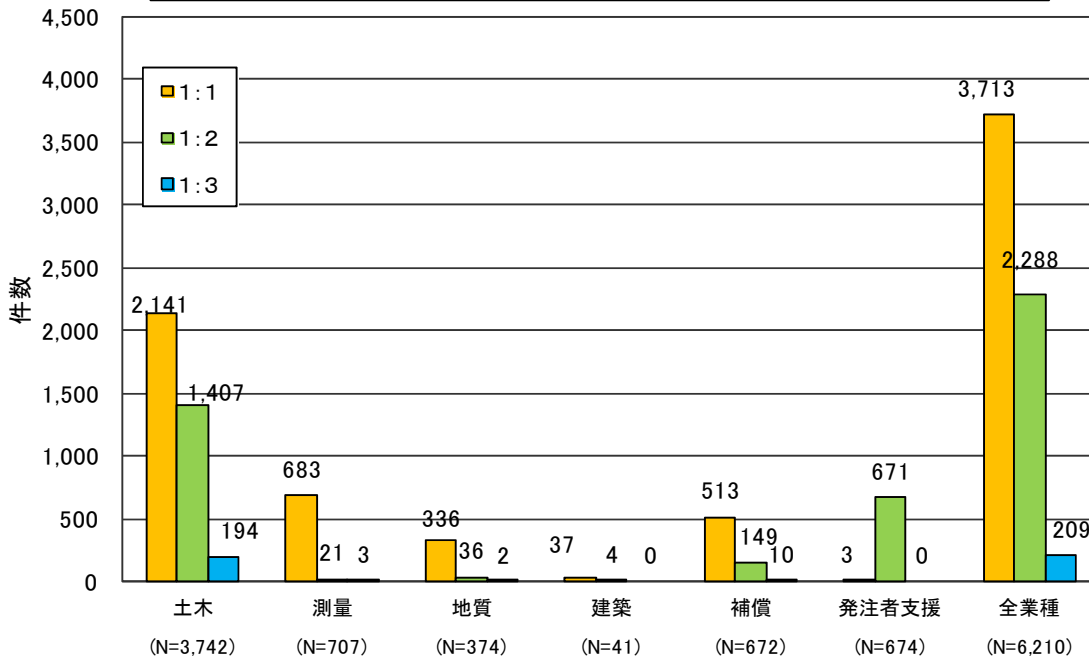
凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

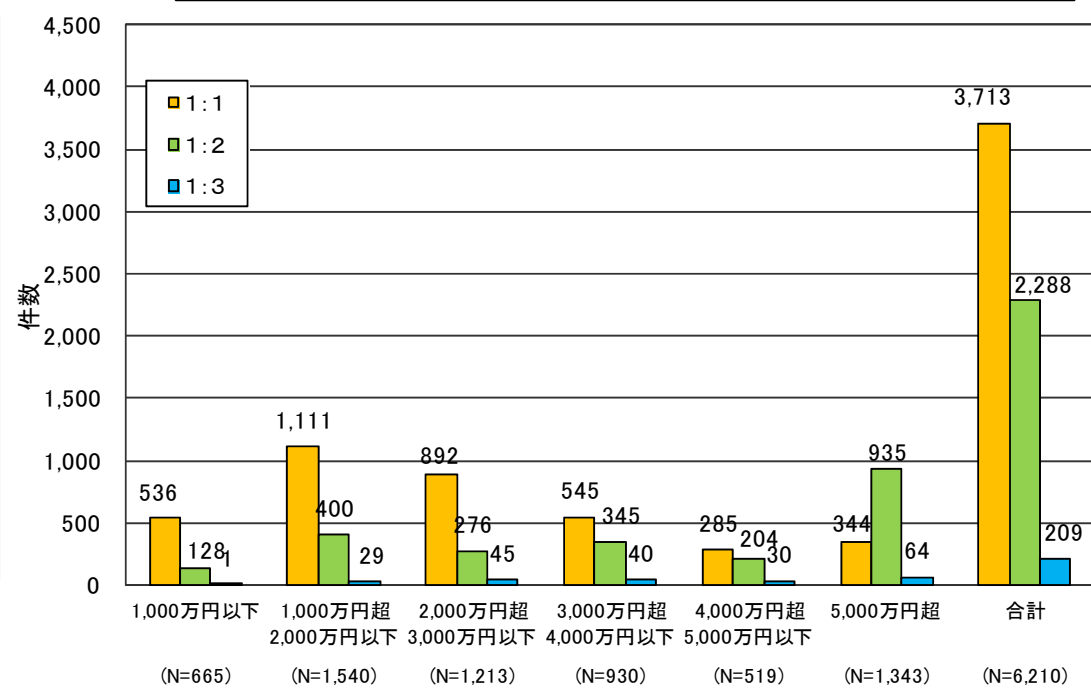
## (3) 業種別・予定価格帯別「総合評価落札方式」発注件数(平成26年度)

- ・業種別では、土木業務3,742件、測量業務707件、地質業務374件、建築業務41件、補償業務672件、発注者支援業務674件となっている。
- ・予定価格帯の内訳では、1,000万円～2,000万円が最も多く25%を占め、5,000万円超の業務も22%を占める。

H26年度 総合評価落札方式 業種別件数



H26年度 総合評価落札方式 予定価格帯別件数





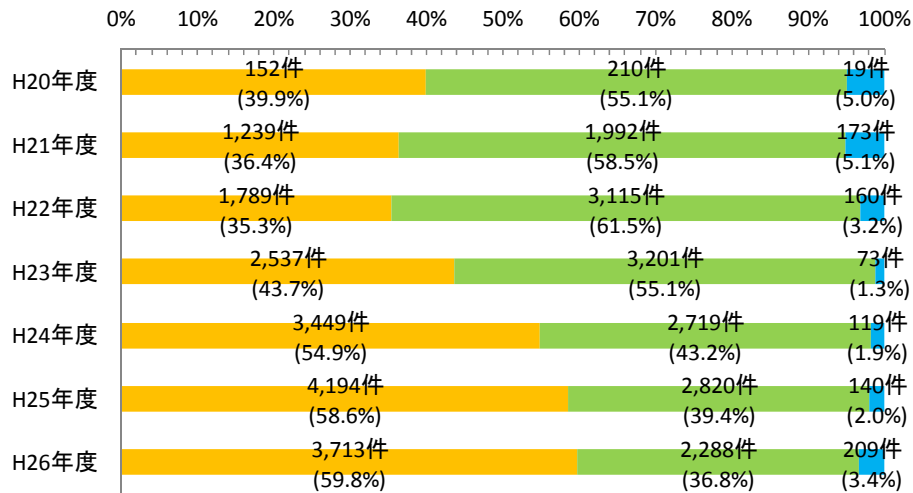
# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (4) 配点比率別「総合評価落札方式」発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)

・配点比率別の実施件数割合は、平成26年度は、1:1は59.8%、1:2は36.8%、1:3は3.4%となっており、1:1が全体の6割を占めた。

・業種別では、土木の1:1業務の割合が57.2%であるのに対し、測量では96.6%が、地質では89.8%が1:1業務となっている。

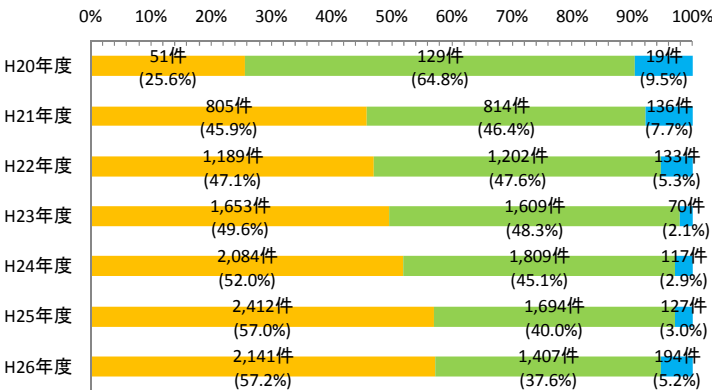
総合評価 配点比率別発注件数の推移



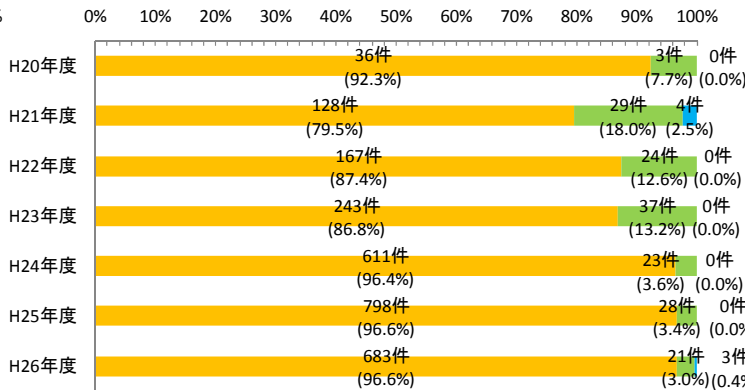
凡例:  
 ■ 1:1  
 ■ 1:2  
 ■ 1:3

	比率	技術提案
標準型	1:3	実施方針+評価テーマ(2つ以上)
	1:2	実施方針+評価テーマ(1つ)
簡易型	1:1 ※ 業務の難易度に応じて1:2も使用可	実施方針のみ

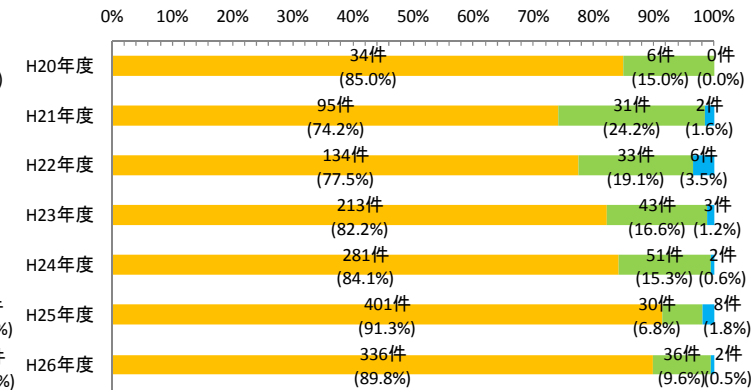
全業種計



土木



測量



地質

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

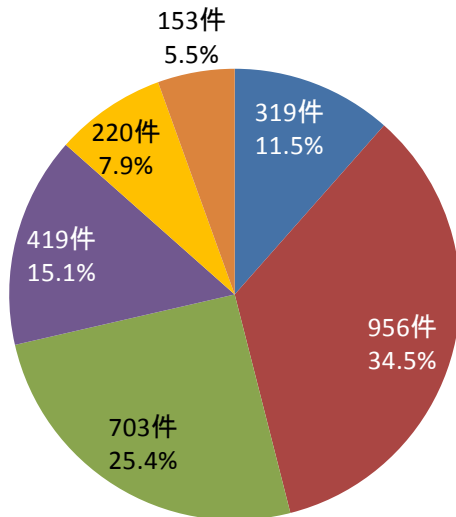
## (5) 調達方式別・予定価格帯別発注件数(平成26年度)

- ・業務の平均的規模は、総合評価落札方式(3,784万円)、プロポーザル方式(2,614万円)、価格競争(1,231万円)の順となった。
- ・プロポーザル方式は、1,000～3,000万円の範囲が59.9%を占めた。
- ・総合評価落札方式は、他の方式と比較すると、一部の予定価格帯に偏らず、4,000万円超の業務も30.0%存在する。
- ・価格競争は、1,000万円以下が55.2%となり、規模の小さな業務が過半を占めた。

調達方式別・予定価格帯別発注件数

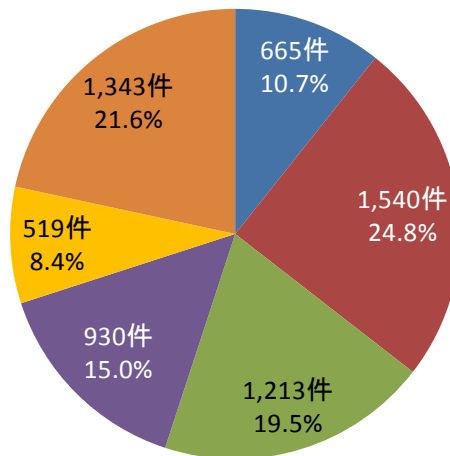
プロポーザル方式

(平均業務規模: 2,614万円)  
(N=2,770)



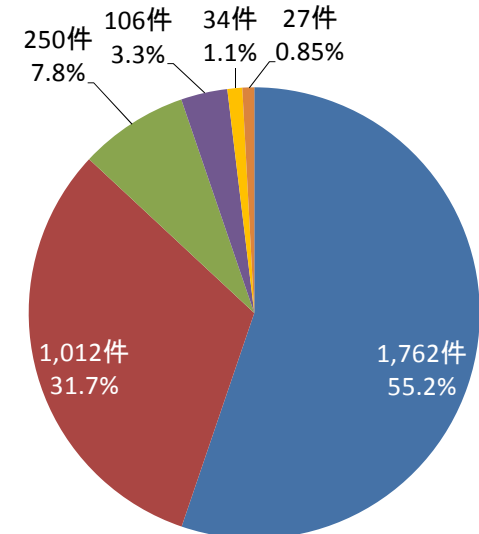
総合評価落札方式

(平均業務規模: 3,784万円)  
(N=6,210)



価格競争

(平均業務規模: 1,231万円)  
(N=3,191)



凡例: ■ 1,000万円以下 ■ 1000万円超～2000万円以下 ■ 2,000万円超～3,000万円以下  
 ■ 3,000万円超～4,000万円以下 ■ 4,000万円超～5,000万円以下 ■ 5,000万円超

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

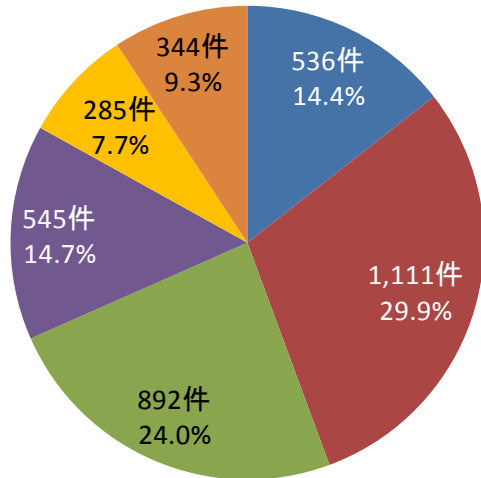
## (6) 配点比率別・予定価格帯別「総合評価落札方式」発注件数(平成26年度)

- ・業務の平均的規模は、配点比率1:2(5,556万円)、配点比率1:3(4,877万円)、配点比率1:1(2,630万円)の順となった。
- ・配点比率1:1では、1,000~3,000万円の範囲が53.9%を占めた。
- ・4,000万円超の業務が、配点比率1:2では49.8%、配点比率1:3では45.0%を占めた。

総合評価 配点比率別・予定価格帯別発注件数

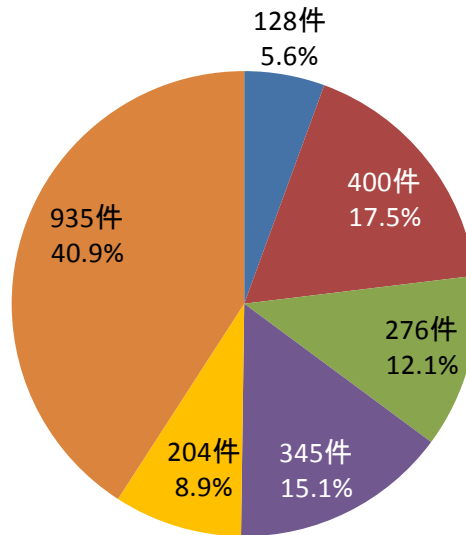
1:1

(平均業務規模:2,630万円)  
(N=3,713)



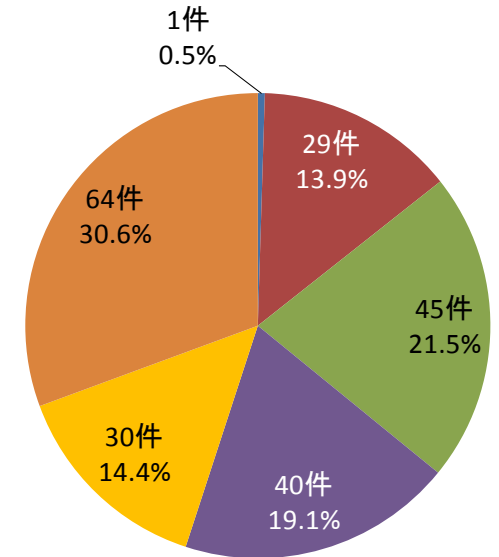
1:2

(平均業務規模:5,556万円)  
(N=2,288)



1:3

(平均業務規模:4,877万円)  
(N=209)



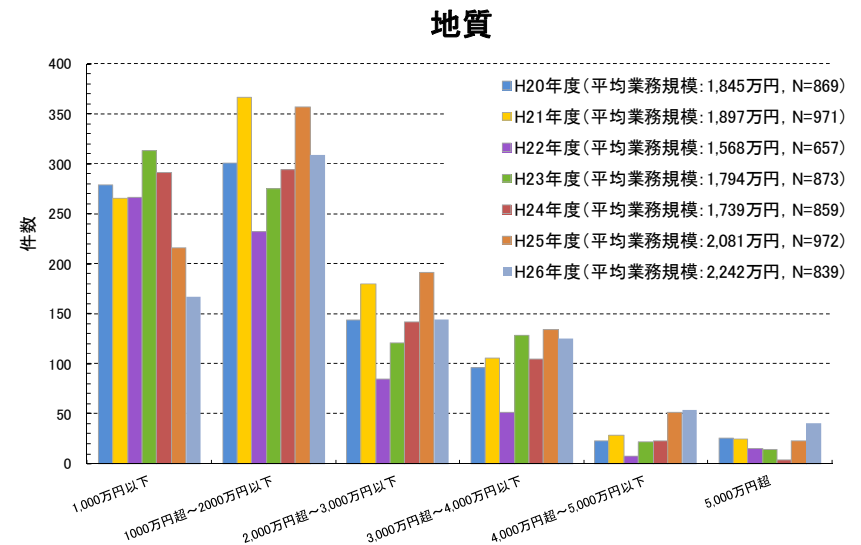
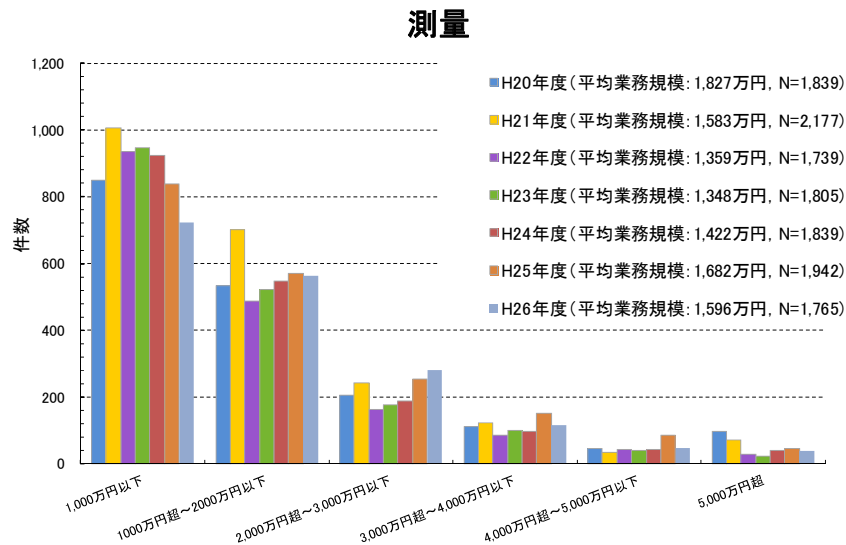
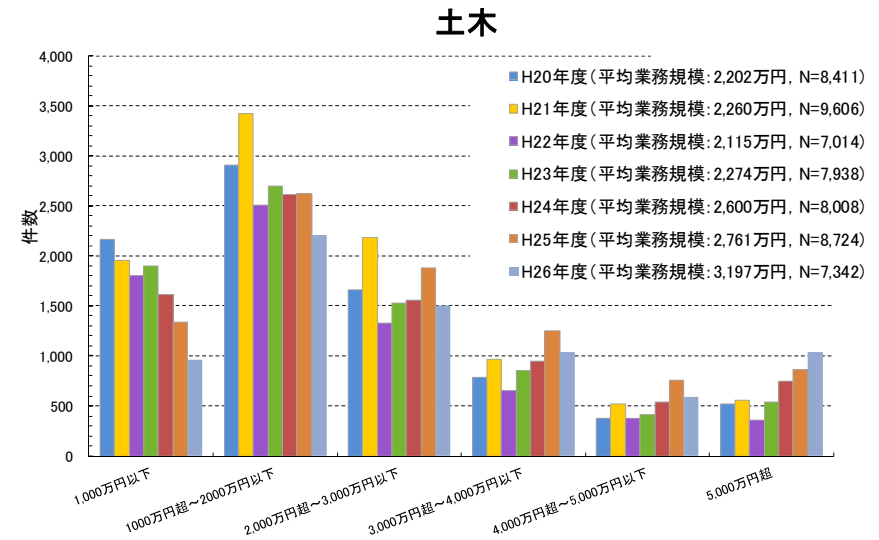
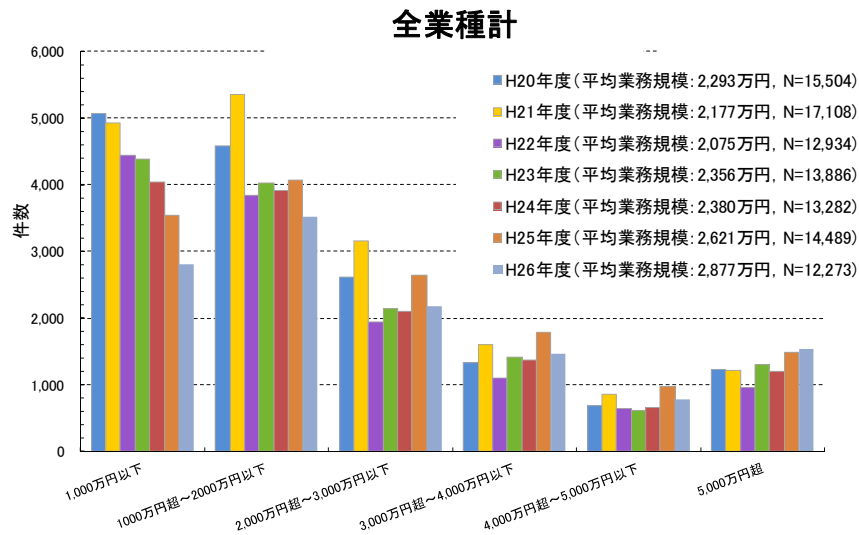
凡例: ■ 1,000万円以下 ■ 1000万円超~2000万円以下 ■ 2,000万円超~3,000万円以下  
■ 3,000万円超~4,000万円以下 ■ 4,000万円超~5,000万円以下 ■ 5,000万円超

# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (7) 予定価格帯別発注件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)

・平成26年度の業種毎の平均業務規模は、測量を除き平成25年度と比較して増加している。

### 業種別予定価格帯別発注件数の推移

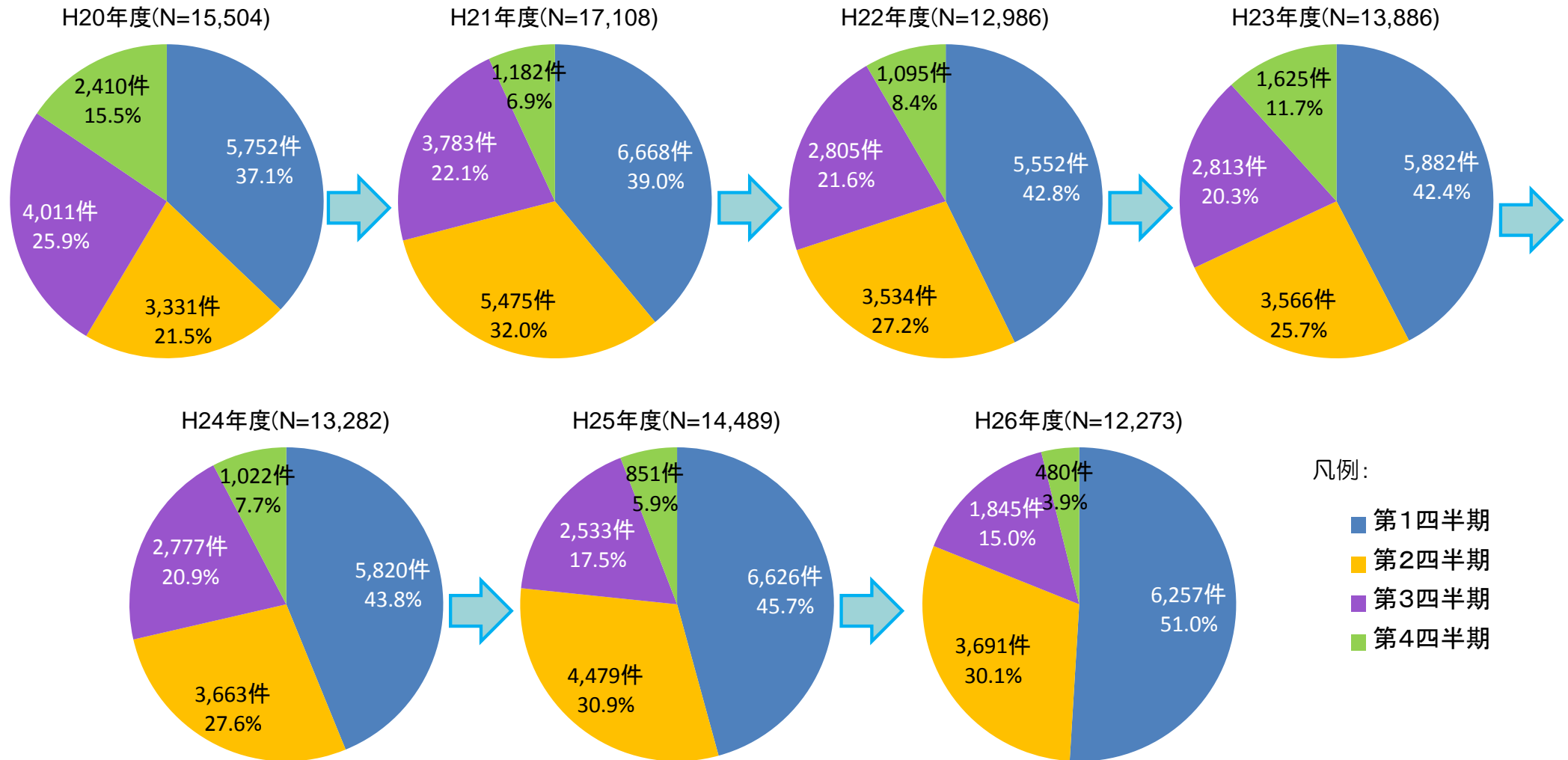


# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (8) 四半期別発注件数割合の推移(全業種計)

・上半期の契約割合は、増加傾向にあり、平成26年度は全件数の80%以上を占めた。

四半期別発注件数割合の推移(全業種)



凡例：  
 ■ 第1四半期  
 ■ 第2四半期  
 ■ 第3四半期  
 ■ 第4四半期

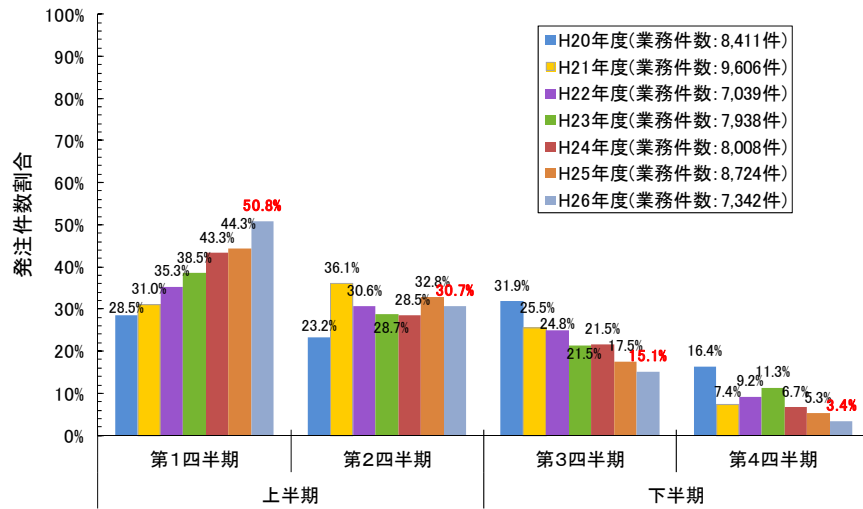
# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (8) 四半期別発注件数割合の推移(土木／測量／地質)

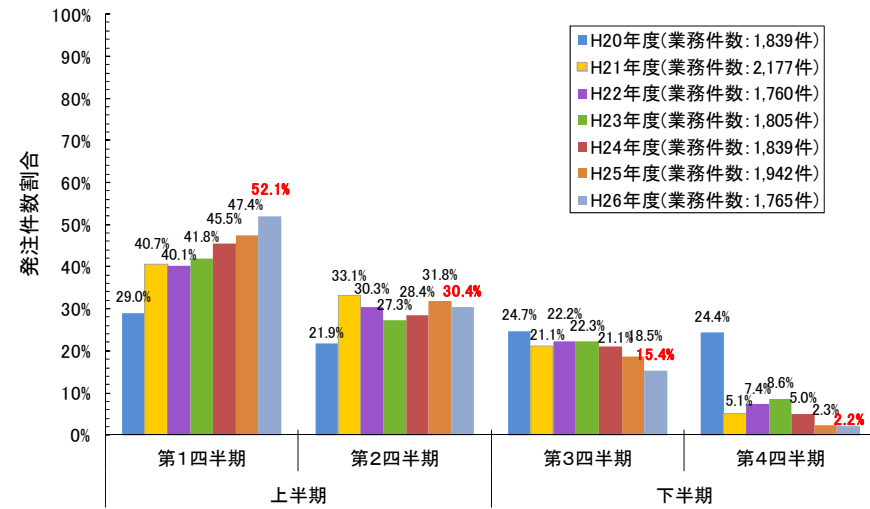
・上半期の契約割合は、増加傾向にあり、平成26年度は土木、測量で全件数の8割を超えた。

### 業種別四半期別発注件数割合の推移

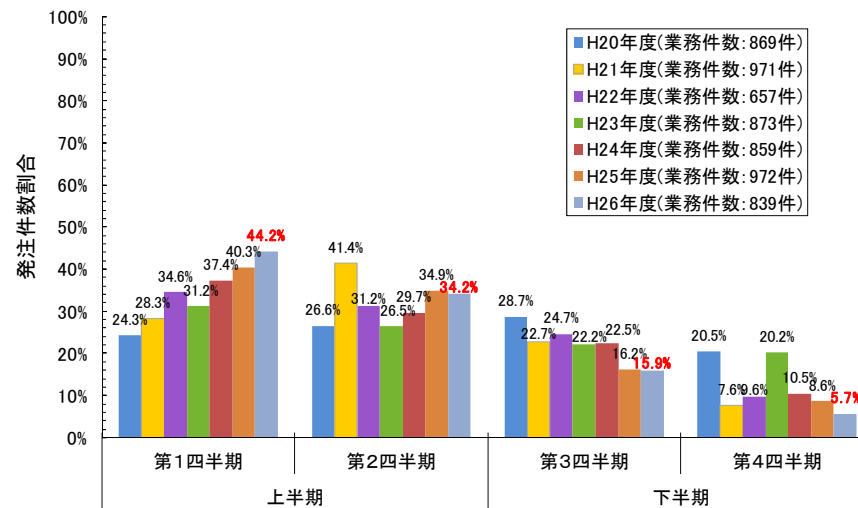
#### 土木



#### 測量



#### 地質

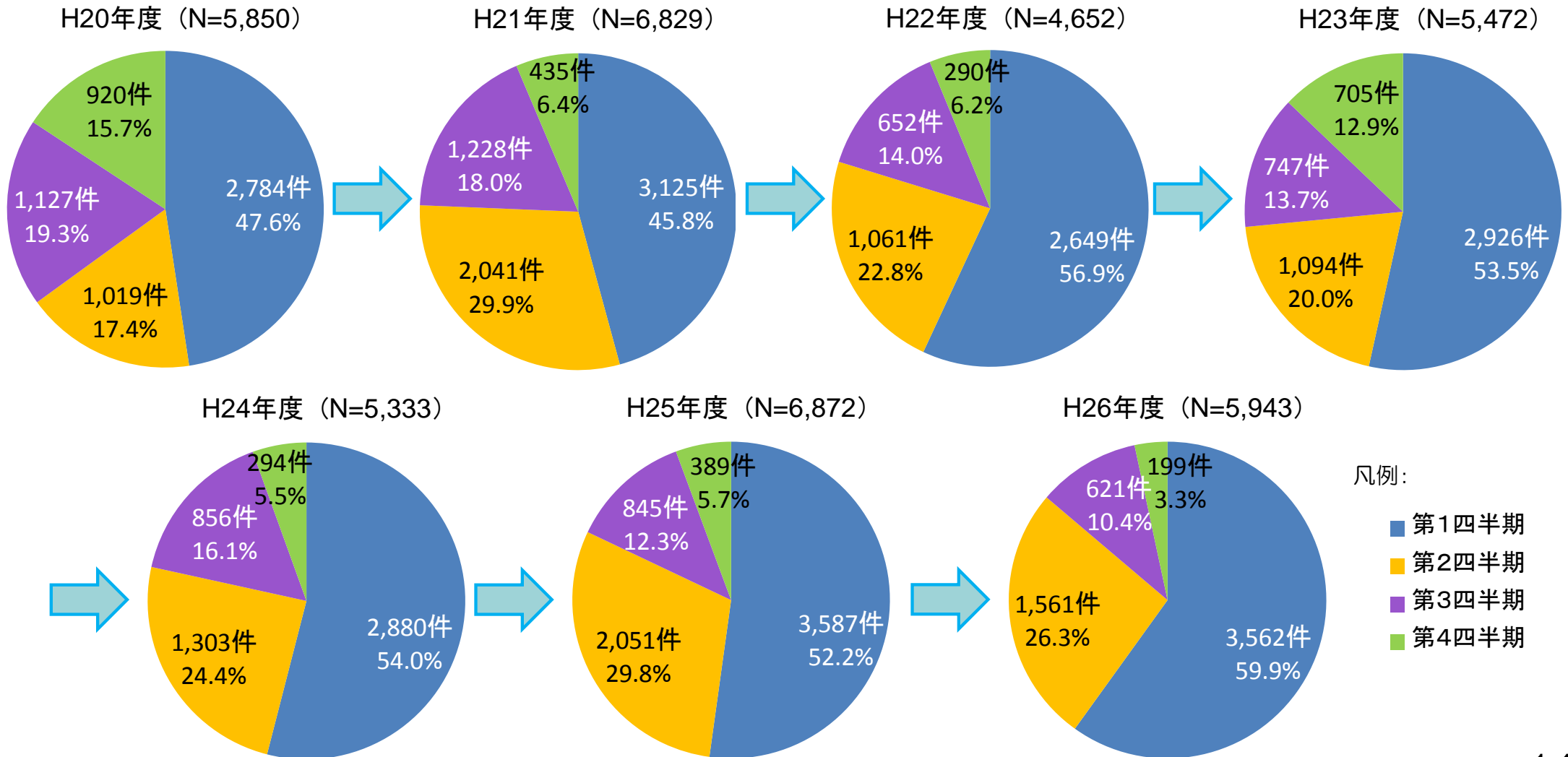


# 1. 調査・設計等分野の契約状況

## (8) 四半期別発注件数割合の推移(予定価格2,000万円超の業務)

・比較的規模の大きい業務(予定価格2,000万円超の業務)についてみると、平成26年度の上半期の契約割合は全件数の86.2%を占めた。

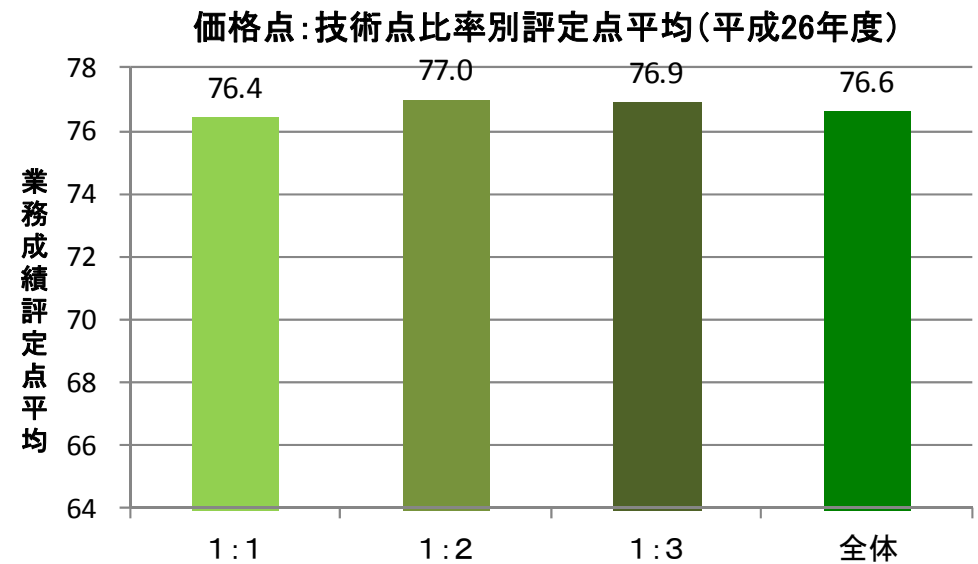
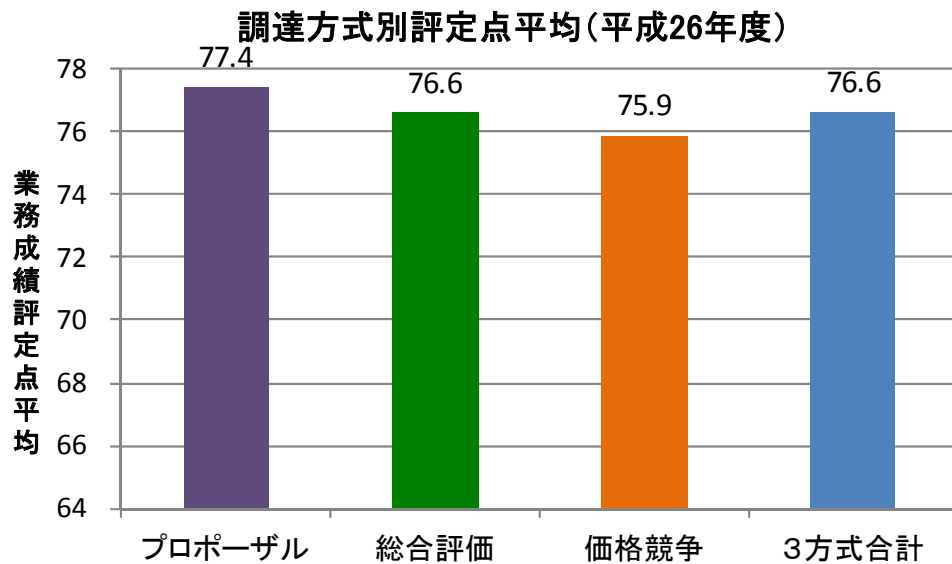
四半期別発注件数割合の推移(全業種: 予定価格2,000万円超)



## 2. 業務成績との関係(平成26年度)

### (1) 調達方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種)

- ・調達方式別に見ると、プロポーザル方式が最も高く、以下総合評価方式、価格競争の順となっている。その差は価格競争に比して、+1.5点(プロポーザル)、+0.7点(総合評価)となっている。
- ・総合評価落札方式の配点比率別に見ると、1:2と1:3の業務が1:1の業務に比べて業務成績評定点平均が高い傾向にある。



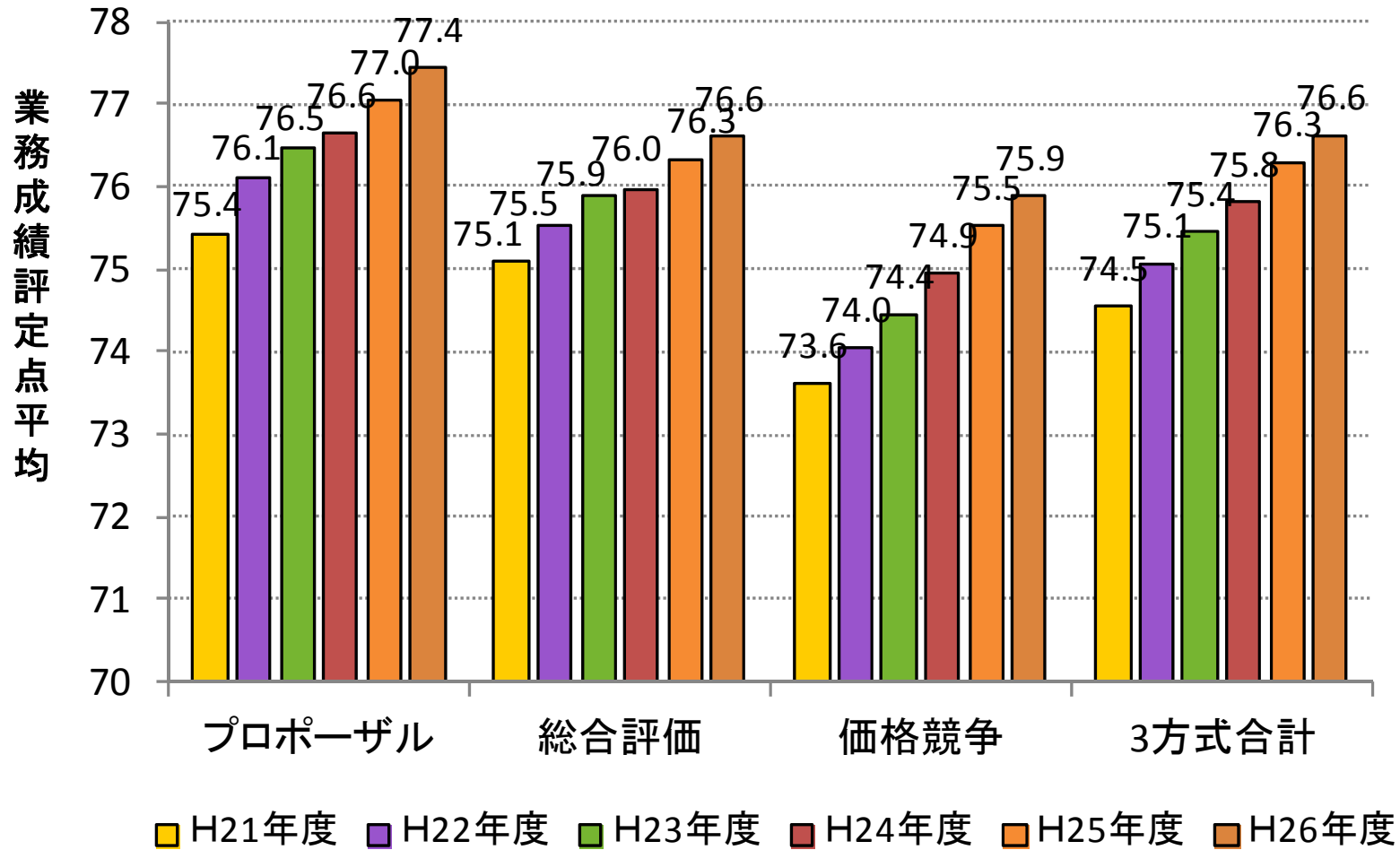
※分析対象は、全業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)で、業務成績評定点のある業務。  
 プロポーザル方式 2,413件、総合評価落札方式(1:1、1:2、1:3) 4,497件(3,093件、1,227件、177件)、価格競争 2,514件、合計9,424件。



## 2. 業務成績との関係(平成26年度)

### (2) 調達方式別業務成績評定点平均の推移(全業種)

・全ての調達方式で、業務成績評定点平均が年々向上している。

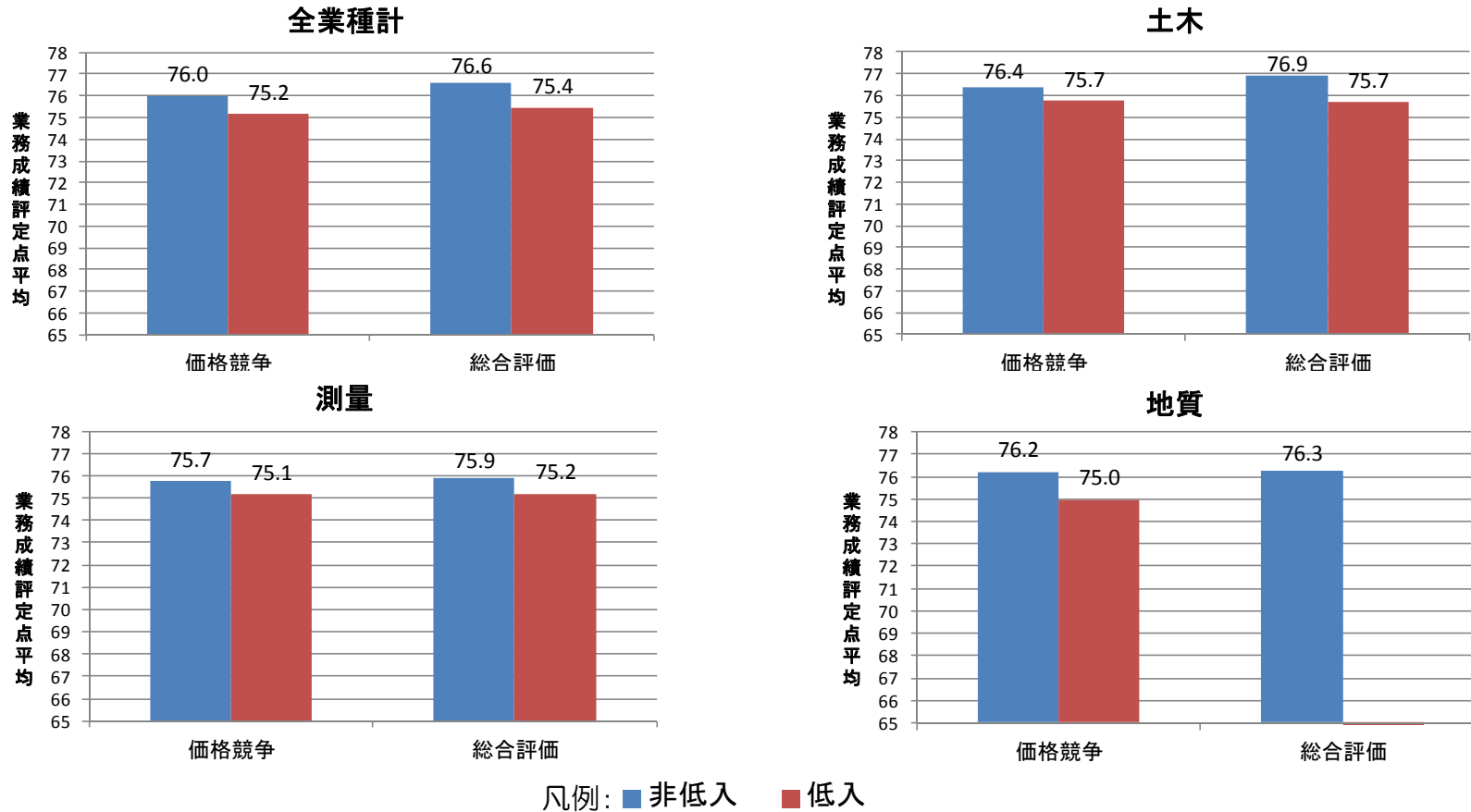


## 2. 業務成績との関係(平成26年度)

### (3) 低入落札・非低入落札と業務成績評定点の関係

- ・低入落札者と非低入落札者の平均業務成績評定点とを比較すると、価格競争、総合評価ともに低入落札者の業務成績評定点が低い。
- ・主要3業種の別に見ても同様の傾向。

業種別低入落札・非低入落札別業務成績評定点平均(総合評価・価格競争)



※ 低入落札業務は、予定価格が1,000万円超の業務では、落札価格が調査基準価格を下回る業務、予定価格が1,000万円以下の業務では、調査基準価格・品質確保基準価格が設定されている業務については調査基準価格・品質確保基準価格を下回る業務、設定されていない業務については落札率が75%を下回る業務とした。

※分析対象は、全業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)で、業務成績評定点のある業務。

全業種: 価格競争2,512件・総合評価4,485件、土木: 価格競争819件・総合評価2,723件、測量: 価格競争950件・総合評価667件、地質: 価格競争364件・総合評価319件。

(価格競争2件および総合評価12件については、調査基準価格・品質確保基準価格が設定されていない、あるいは適切でない値が入力されていたため、集計対象から除外した)